

# 地震観測施設一覧<sup>\*0</sup>（2016年4月1日現在）

地震調査研究推進本部調べ

項目 担当機関	高感度地震計		広帯域地震計		強震計		地殻変動				海底地殻変動 (海底基準局)	地下水	地球 電磁気	重力	検潮 ・ 津波
	陸	海底 <sup>*1</sup>	TYPE1 <sup>*2</sup>	TYPE2 <sup>*3</sup>	地上	地下	GNSS	SLR	VLBI	歪計等 <sup>*4</sup>					
国立大学法人	236	3(1)	10 <sup>*5</sup>	34 <sup>*5</sup>	107	19	116			83	34	10	29	3	4
防災科学技術研究所	782	182(8)	16	108	1742	695				40					179
海洋研究開発機構		7(3)		1											5
国土交通省					573	35									66
国土地理院	2						1330		2	3			14		25
気象庁	244	13(3)		20	682					42			6		109 <sup>*6</sup>
海上保安庁海洋情報部							35	1			24				20
産業技術総合研究所	29						11			27		48			
合計	1293	205(15)	26	163	3104 <sup>*7</sup>	749	1492	1	2	195	58	58	49	3	408 <sup>*6</sup>

(\*0) 臨時観測点は対象外。

(\*1) 括弧内はケーブルの本数。

(\*2) 小地震から地球自由振動まで解析可能な周波数帯域をカバーする広帯域地震計。(例: STS1、CMG1T)

(\*3) 微小地震から津波地震のうち比較的卓越周期の短いものまで解析可能な周波数帯域をカバーする広帯域地震計。(例: STS2、CMG3T)

(\*4) 歪計、体積歪計、多成分歪計、傾斜計、伸縮計等を示す。

(\*5) 国立大学の広帯域地震計は、高感度地震計に併設されている、または高感度地震計と兼ねて運用しているため、高感度地震計の内数となる。

(\*6) 他機関観測施設利用観測点として1点を含む。

(\*7) この他に、地方公共団体の震度計約2900地点等がある。